

昭 議会だより 第 90 号

群馬県昭和村議会

平成30年10月15日 9月定例会



勝利のために みんなのために

Contents

- 2～3 平成29年度決算認定
- 4～5 9月定例会
- 10～12 村の姿勢を問う
- 14～15 アメリカ独立記念式典招待を受けて



を目的基金へ積み替え

(詳細は議会だより第87号5ページに掲載)

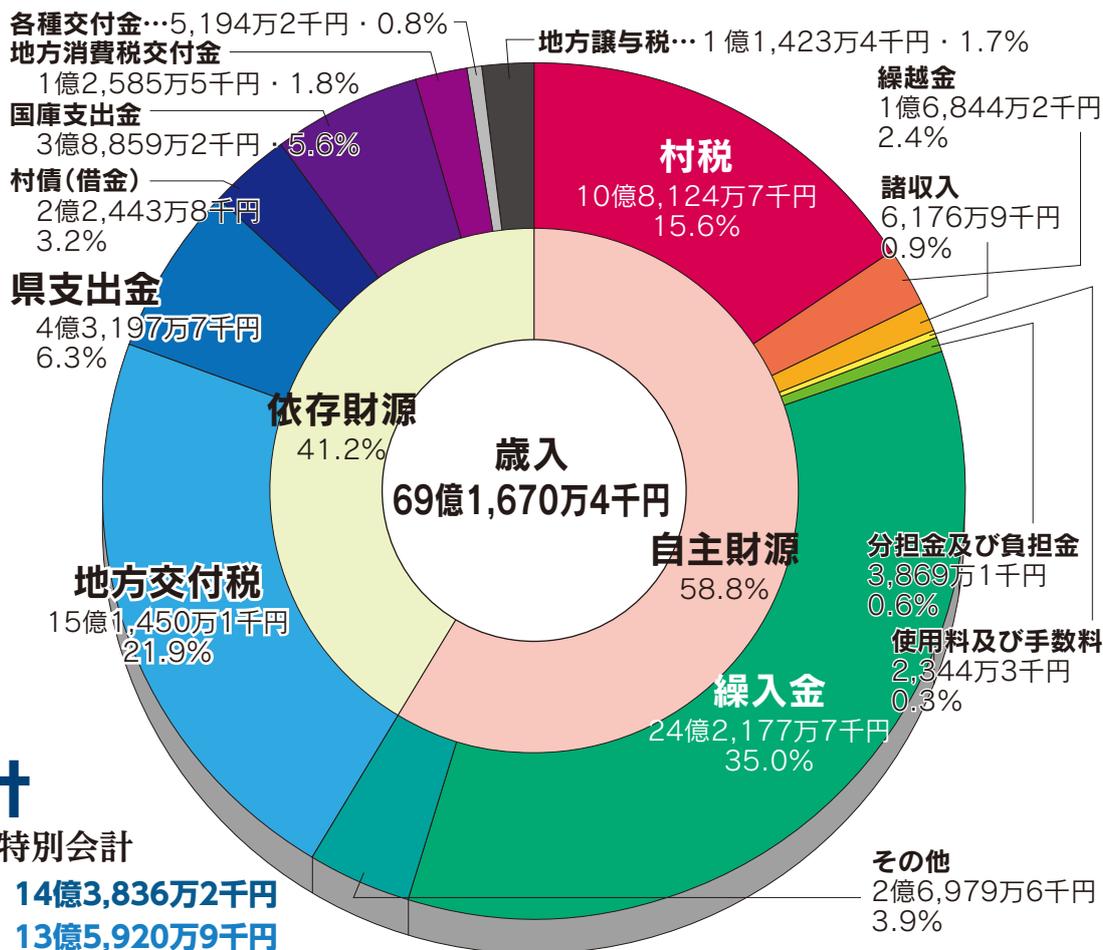
一般会計

歳入総額

69億1,670万4千円

(前年度比49%増)

歳入



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入総額 **14億3,836万2千円**
歳出総額 **13億5,920万9千円**

簡易水道事業特別会計

歳入総額 **1億5,483万4千円**
歳出総額 **1億2,888万1千円**

農業集落排水事業特別会計

歳入総額 **3億1,376万8千円**
歳出総額 **2億8,806万7千円**

介護保険特別会計

歳入総額 **8億1,756万6千円**
歳出総額 **7億9,329万3千円**

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 **8,191万7千円**
歳出総額 **8,028万2千円**

財政運営の状況

(単位: %)

	27年度	28年度	29年度
財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされる。	0.413	0.416	0.423
経常収支比率 経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%~80%の範囲が望ましいとされている。	81.8	86.3	87.3
公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費の比率。公債費は義務的経費であり、10%を超えないことが望ましいとされている。	1.4	1.6	2.1
実質公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費のほか、公営企業会計や一部事務組合が負担する公債費、債務負担行為などを加味した比率。	6.1	5.2	5.0

決算

21億8,800万円

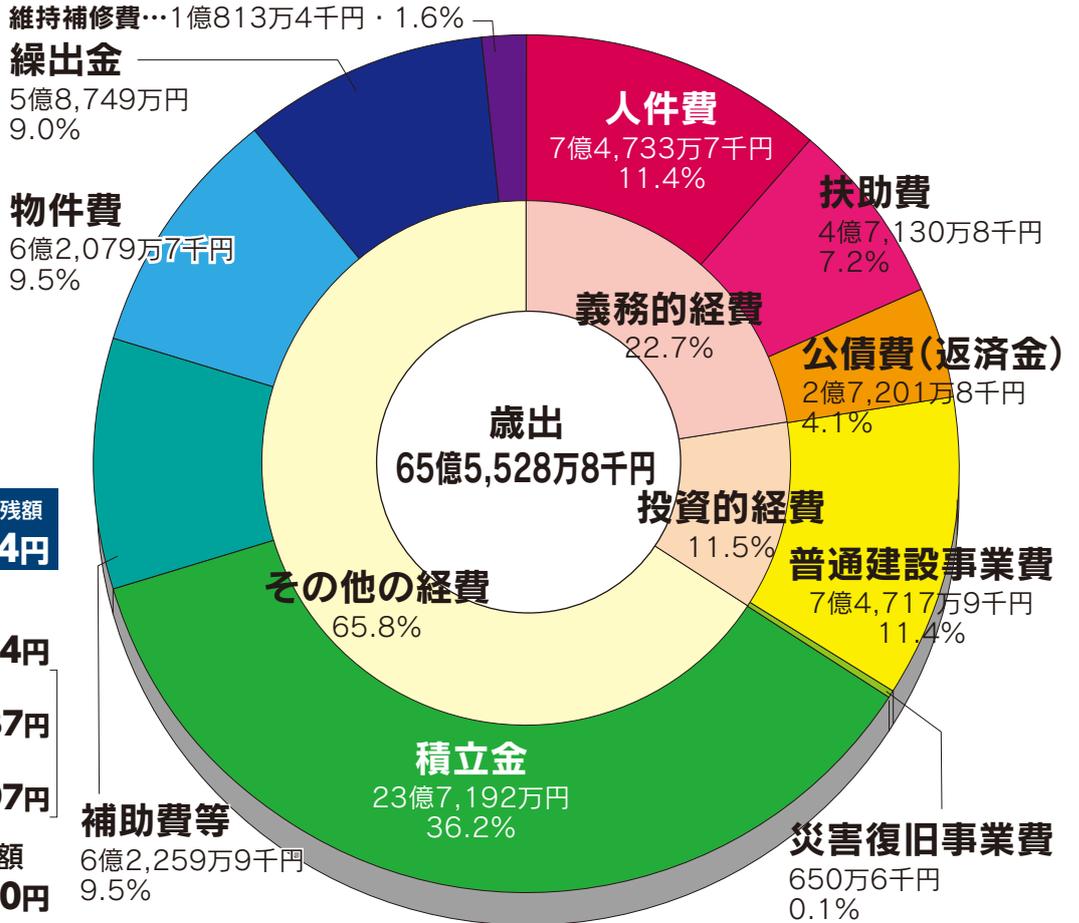
歳出

一般会計

歳出総額

65億5,528万8千円

(前年度比53%増)



一般会計 歳入・歳出差引残額
361,415,934円

- ・うち基金繰入金 **199,415,934円**
 - 財政調整基金へ **181,345,137円**
 - 学校校舎建築基金へ **18,070,797円**
- ・平成30年度への繰越額 **162,000,000円**

決算審査行われる

8月17日、20日、21日

審査結果の総括的意見

代表監査委員 **金井 正夫氏**
監査委員 **兵藤 喜孝氏**

平成29年度昭和村一般会計及び特別会計歳入・歳出決算書、事項別明細書、財産に関する調書及び各種基金の運用状況を示す書類等について審査を実施した。

その結果、決算書並びに事項別明細書等は、ともに関係法令に準拠し、かつ、前会計年度と同一の基準に従って作成されており、計数も関係書類と符合し正確であり、決算内容も適正であると認めた。

また、収支状況、基金及び地方債残高が示すとおり、財政運営は健全であり、予算執行状況についても、適正であると認めた。

今後も歳入面では、村税などの自主財源の確保に努め、有効な補助金等の活用を図り、歳出面では、引き続き効率的、かつ効果的な財政運営を目指した行財政改革を推進するとともに、

事業の必要性や効果について評価をし、限られた財源を有効に活用する中で、より一層の村民サービスの向上を図るよう要望する。



3日間にわたり行われた決算審査

9月定例会

9月5日から14日までの10日間の会期で開催されました。承認1件、議案9件、認定6件、報告2件、発議1件の計19件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では3人の議員が村政の課題について村当局の答弁を求めました。



岩本駅駐輪場

承認(専決処分)

平成30年度一般会計補正予算(第2号)

総額 19億1万5千円を増額

38億9312万2千円
県消防ポンプ操法競技大会出場補助金及び修繕料による増額。

条例改正

昭和村営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正

岩本駅駐輪場に併設の駐輪場に不法放置されている自転車等を管理・処分するための改正。

特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

空家等対策協議会設置に当たり委員報酬を定める改正。日額9千円、半日額4500円とする。

税条例等の一部改正

個人村民税において障害者、未成年者、寡婦(夫)に

対する非課税措置に係る前年の合計所得金額が「135万円以下」に引き上げになるほか、たばこ税の税率引き上げなどの改正。

定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の一部改正

村内業者100万円、村外業者80万円の補助金制度を平成36年3月末まで5年間延長するための改正。

補正予算

平成30年度一般会計補正予算(第3号)

総額 7748万1千円を増額

39億7060万3千円
ふるさと納税サイト「さとふる」への参入、村施行60周年記念式典事業などに伴う増額等。

平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総額 86万2千円を増額

14億2551万1千円
前年度の退職者医療交付金の清算に伴い償還金が生

じたことによる増額。

平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

総額 366万8千円を増額

1億5151万7千円
北部簡易水道配水管布設替工事等による増額。

平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

総額 53万6千円を増額

7億9268万5千円
前年度の介護給付費交付金の清算に伴う返還金等を増額。

平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

総額 32万9千円を増額

8684万7千円
前年度の後期高齢者医療広域連合事務費負担金の清算に伴い返還金が生じたことによる増額。

発議

群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書

当該病院では様々な症例の患者を受入れ、最先端の高度医療を提供してきた。特定機能病院としての取扱いがなされないことは、本来期待される高度医療の提供や医師の養成・確保という役割を十分に果たせないことにも繋がり、必要な医



療を受ける機会を住民から奪い、地域医療の崩壊に繋がりがねない。住民の安全で安心できる暮らしを維持確保するためにも特定機能病院としての再承認を要望する意見書を提出。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官

(提出者)

議会議長 加藤 生

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		林祐司	藤井貞充	藤井照明	高橋隆雄	永井一行	横坂末吉	加藤美昭	高橋昇三	藤井富夫	林幸司	兵藤喜孝	加藤生
第3回定例会 (平成30年9月5日～14日)													
承認第10号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成30年度一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	昭和村営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	昭和村税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	昭和村定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成30年度一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成29年度一般会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第2号	平成29年度国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第3号	平成29年度簡易水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第4号	平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成29年度介護保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第6号	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
発議第3号	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員協議会

7月、8月、9月に開催した全員協議会での協議内容
 容は次のとおりです。

7月27日

桐久保畑地かんがい利用 組合の施設跡地の処分

桐久保畑地かんがい器具の格納庫跡地は村名義であるが、隣接する土地の所有者と協議し、それを処分したい旨の説明を受け、承認した。

糸井太夫遺跡Ⅱの調査報告

糸井太夫遺跡(昭和村公民館より上流部一円)について、教育委員会事務局の石北臨時文化財保護主事より説明を受けた。



糸井太夫遺跡より出土

KDDI携 帯基地局設 置に係る村 有地の貸与

携帯基地局設置に伴い、大字川額字滝の入(高速道路に架かる峰平橋の西側)の土地貸与について承認した。

8月28日

㈱あくりーむ昭和の経営状況

平成29年1月6日に設立され、村の指定管理を受け、同年4月1日より業務を開始したが、本年度決算等の経営状況と事業の執行状況について順調に推移との説明を受けた。

役場庁舎建設委員会の設置

新庁舎建設委員会設置要綱及び委員のメンバーや人数について協議した。

土砂災害警戒区域等の指定区域

県が指定した村全域の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域について説明を受けた。



9月12日

役場庁舎建設委員会の設置

新庁舎建設委員会設置要綱、委員26名が提案され承認した。

昭和村空家対策協議会の設置

空家対策の推進に関する特別措置法(平成26年法律127号)第7条第1項の規定に基づき「昭和村空家対策協議会」を設置することを承認した。

国際姉妹都市イギリス ポイント市長等の来村

ロバート・ラッセル市長他8人が秋まつりに合わせて来村し、5日間滞在する。その対応について協議した。



ふるさと納税サイト「さとふる」への参入

ふるさと納税の件数や納税額が減少傾向にある。「さとふる」はテレビCM等広告宣伝に力を入れているため、手数料は高いが、村の認知度向上が期待される。ふるさとチョイス、楽天、さとふるの3社での展開について承認した。



みなさんからの請願・陳情

自 平成30年8月13日 至 平成30年8月27日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
61	H30. 8.13 (郵送)	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書の提出について(依頼)	群馬県町村議会議長会 会長 仲澤 太郎		総務 民生	採択 <small>(意見書提出)</small>
62	H30. 8.27 (郵送)	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考える会 群馬県担当 金井 愛華			配布のみ
63	H30. 8.27	消火栓設置に関する請願書	生越区長 林 貞夫	林 祐司	総務 民生	採択

議会の動き

7月

- 24~25日 ●村づくり対策特別委員会視察研修(長野県木島平村・山梨県早川町)
- 26日 ●利根沼田暴力追放推進協議会理事会及び定期総会
●利根沼田広域圏振興整備組合議会定例会
●利根沼田学校組合議会議員協議会
●中学生海外派遣事業推進委員会
- 27日 ●議会全員協議会
- 31日 ●産業青年海外派遣推進委員会

8月

- 3日 ●議会全員協議会
- 6日 ●群馬県町村議会議長会臨時理事会
- 7日 ●村民運動会打合せ会議
- 15日 ●群馬県戦没者追悼式
- 20日 ●利根地方総合開発協会理事・代表幹事合同会議
●利根郡町村議会定例議長会
●利根沼田学校組合議会議員協議会
●利根沼田学校組合議会定例会
- 26日 ●望郷ラインセンチュリーライド2018

- 28日 ●議会運営委員会
●議会全員協議会
●議会広報編集特別委員会
●介護保険運営協議会

- 29日 ●簡易水道運営協議会

9月

- 5日 ●第3回昭和村議会定例会
本会議(初日)
- 6日 ●議会全員協議会(決算説明)
- 7日 ●議会全員協議会(決算説明)
- 8・9日 ●昭和中学校秋季大運動会
- 10日 ●総務民生常任委員会
- 11日 ●文教産建常任委員会
- 12日 ●議会全員協議会
- 14日 ●本会議(最終日)
- 16日 ●小学校秋季大運動会
- 18日 ●議会広報編集特別委員会
- 22日 ●保育園運動会

- 26日 ●議会広報編集特別委員会
- 30日 ●第51回村民運動会(中止)

10月

- 2日 ●議会広報編集特別委員会
- 6日 ●イーグルポイント市長等来村
- 7日 ●第21回昭和の秋まつり



総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

意見書・請願書を審査

「群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書の提出について」を審査

群大病院は、医療事故の判明以来、診療体制の見直しや安全管理体制の整備等様々な改革を徹底して進めており、こうした再発防止のための取組の実績は、病院監査委員会においても高く評価されています。

同病院は、難治性疾患を含む様々な症例の患者を受け入れ、最先端の高度医療を提供してきましたが、特定機能病院としての取り扱いがなされないことは、同病院の高度医療技術の研究開発や人材育成機能にも支障を来たし、地域医療の崩壊につながりかねないことから採択としました。

(全員賛成)

「消火栓設置に関する請願書」について審査

生越地区内の道路敷地内等に設置されている2箇所の消火栓は、地下式のため、冬季積雪時には消火栓の位置の確認が難しく、また、雪解け水による凍結により、消火栓の蓋を開ける

ことも極めて困難な場合があるとのことでした。そこで、万が一の際の初期消火に支障をきたす恐れがあることなどから、地区からの要望である40ミリの地上式消火栓を設置すべきとの意見が出され、採択としました。

(全員賛成)



生越地区



相馬原駐屯地

陸上自衛隊「相馬原駐屯地資料館」を視察

相馬原駐屯地は、第12旅団司令部、ヘリコプター隊、偵察隊や音楽隊があるなどの概要説明と災害派遣時の任務等について、詳しく説明を受けましたが、我が国の平和と国民の生命と財産を守るために、あらためて隊員の苦勞と使命を実感しました。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

群馬フェリーチェ学園を視察

平成29年度決算、その他所管事務について担当課長係長へ質疑、討論を行いました。

また、村の教育行政を考えるために友好交流都市の玉村町にある群馬フェリーチェ学園を視察しました。

英語特区を取得した私立の幼小連携教育校で、約10年間の英語・日本語※バイリンガル教育を実施しています。

※バイリンガル教育：母国語と外国語の2言語を習得させることで教科学力を効果的に獲得させることを理念とした教育法。



イマージョンコース(年少～年長)

普通保育の中に英語を取り入れ、1日5時間の英語教育を行います。(英語漬け)



★国際こども園

ナーサリーコース(1～2歳児)

普通保育の中に、午前45分間、午後30分間の英語教育を取り入れ、英語教育の導入を図ります。

★玉村国際小学校

幼稚園で培った英語力を更に伸ばすため、文科省の認可基準を満たしつつ、各科目に英語を取り入れて授業を実施しています。

教科	使用言語
国語	日本語
算数	日本語・英語
理科	日本語・英語
社会	日本語・英語
英語	英語

在学中に全児童が英検2級を取得。卒業後は9割の児童が私立中学校に進学しているとのこと。

所管の平成29年度決算、その他について質疑

- ☆ゴミ問題
- ☆農産物ブランド化の問題
- ☆農産物の輸出問題
- ☆外国人研修制度改正問題等について協議しました。



兵藤 喜孝 議員

50年、100年を見据えた取り組みは

村長 ブランド力の向上に努める

問 昭和村の50年、100年を見据えて次世代の若い人たちのために村の取り組み、政策について伺う。

①農業について

答 産業課長

労働力不足等の課題もありますが、食の安全を担保し、強化しながら諸事業を推進していききたいと思えます。

問 農産物の海外に向けた輸出事業やブランド化事業の積極的な取り組みを願うが。

答 村長

それぞれ生産関係機関に要請、協力して今後もブランドの向上に努めていきたいと思えます。

②スポーツと文化・歴史について

答 教育長

他の友好都市などに交流の輪を広げ、スポーツだけでなく、文化や産業

へと発展させたいと思えます。そして、文化財を整理し、資料館の整備や教育への活用を検討したいと考えています。

問 糸井地区の郡役所の活用はどう考えているか。

答 村長

郡役所は老朽化により、今後に残せるか厳しい状況にあります。

③歌、音楽などの芸術関係について

答 教育長

村民が参加しやすい文化・芸術のあり方を模索し、芸術活動の活性化を図りたいと思えます。

問 子どもからお年寄りまで幅広い層で、カラオケなども取り入れた音楽祭を行ったらどうか。

また、中学生とイーグルポイント市の子ども達で歌を作る計画はどうなっているか。

答 村長

音楽祭が実現する時にはご協力をお願いします。中学生の歌については、教育委員会と相談して進めていきたいと思えます。

④道路災害について

答 建設課長

落石や土砂崩落の危険箇所の把握に努め、必要箇所には対策工事を計画的に実施したいと思えます。

問 河川(片品川)に関しては、中学校付近は防災の観点からも沼田市と協力して早急に対応が必要だと考えるが。

また、土砂崩壊の対策を県に相談するよう求める。

答 村長

利根地方総合開発協会の中で要望書をあげて市町村と連携してお願いしていきます。

⑤昭和村の将来について

答 総務課長

50年先を見つめながらも5年、10年先を見つめつつの事業展開が選択肢の一つと考えます。



問

昭和村の将来を考えると、柱を立てて進むことがとても大切だと考える。農業とスポーツと音楽、そして歴史を大切にするといい柱が良いと思うが、考えを伺う。

答 村長

提案も含め、様々なことを考えながら今後の村づくりを進めていきたいと思えます。



林 幸司 議員

役場庁舎の新築位置 「住民アンケート」を

村長 建設委員会を尊重し、
現段階では考えていない

問

現在地での考えを貫くよう求めるとともに、昭和の湯隣接地案への率直な考えを伺いたい。
自主自立を決めた時と同様に村民投票に準ずる庁舎新築位置等住民アンケートの実施を求める。

答 村長

新庁舎建設位置は、建設委員会を立ち上げ、意見を集約し、尊重していきたいので、位置については私の考えを述べることは控えていただきます。現段階でアンケートは考えていません。

問

国は、来年10月より消費増税分を財源に幼児無償化を予定している。

国より先に保育料無料化を

の充実を図りたいと考えています。

答 村長

増税分を財源とすることに反対するとともに、村長公約を守り、国より先に給食費分等を含め完全無料化の実施を求める。

消費税にばかり頼るのは、不適切であると考えます。
給食費分等が懸念されますが、本村としては保育料完全無料化を前向きに検討し、子育て支援策



問

教育の諸問題5項目について伺いたい。

答 教育長

エアコン設置
教室の温度を測定したら基準以上を記録したので前向きに検討したいと思います。
ブロック塀
危険な塀は学校にはありませんが、東小通学路に数カ所あり、警察、沼田土木とともに現地対応を確認しました。

小中一貫校

築30年で校舎改修と少子化の現状から、小中一貫校を含めた小学校の統廃合など、学校の在り方について、4人の校長と研究委員会を設置。来年度に各界代表を含めた検討会議を立ち上げる準備をしています。

給食費無料化

学校給食は教育の環境、健やかな成長と健康づくりに、保護者と協力しながら進めていきます。

部活動改善等

週2日の休養日、平日2時間以内等を実施し、ほぼ守られているが、中学教員の6割が月80時間以上の超過勤務にあり、さらなる改善を図っていきたく思います。



村の姿勢 問

一般質問

在留外国人の方々に 災害情報は？



藤井 貞充 議員

村長 中国語版は用意した
英語版も作成する

問

温暖化の影響か、今夏は過去に経験のない暑さであった。また、毎年大きな災害が各地で起きている。

本村は県下でも有数の農業地帯であり、人手をまかなうために多くの外国人が労働しているが、国と人数の内訳を伺う。

また、外国人研修制度を改正し、現在より長期間、日本で働けるようにする方針を国が示している。今後、より多くの外国人と接することになると思うが、行政として災害時の情報をどのように告知するのか伺う。

答 村長

村内在住の外国人は、中国が207人、ベトナムが94人、タイ・カンボジアがそれぞれ35人、フィリピンが29人、インドネシアが26人、ネパールが12人、その他にアメリカ・韓国・ブラジル・チェコ・パキスタンから数名ずつです。合計456人で人口の約6%で

問

外国人への避難方法や情報伝達は防災行政無線や緊急告知ラジオなどが有効だと考えています。また、中国語版の防災マップを作成していますが、今後は英語版の作成も考えています。

問

外国人へ確実に情報を伝達することは重要だと考える。英語版の防災マップはいつ頃に作成されるのか伺いたい。

答 総務課長

早い時期に作成したいと思っています。



視 察・調 査・トピックス

下草刈り・花植え

7月11日、午前は農業委員・さくら工房による運動公園内・望郷ライン沿いの下草刈り、午後は村づくり協力委員と運動公園南側入口付近の花植えを行いました。その後、議員・農業委員・村づくり協力委員の3者による意見交換会を行いました。



玉村町議会との交流会

7月14日、第30回を迎えた玉村花火大会に議員・村づくり協力委員などの方と訪れ、友好親善を深めました。



利根郡町村議会議員事務局長研修会

6月27・28日、片品村で開催されました。

研修Ⅰ「町村議会議員の報酬のあり方、町村議会のあり方に関する研究会報告」

県町村議長会 次長 峯岸茂巳氏
 研修Ⅱ「経済統計で何が分かるか？」

県企画部統計課 分析係長 高野浩之氏
 研修Ⅲ「史跡と史実から見る片品村の歴史」

片品村社会教育委員長 笠松 亮氏

村づくり対策特別委員会で行行政視察

役場庁舎新築決定に伴い、7月24・25日、長野県木島平村と山梨県早川町を視察研修しました。

木島平村の人口は約4500人で、県の北端に位置し、県内有数の豪雪地帯です。新庁舎は、現庁舎の隣接地に建設で、平成31年11月末完成予定です。

早川町の人口は約1100人で、県の南西部に位置する、南アルプスの山々に囲まれた自然豊かな土地です。新庁舎は現庁舎と同一敷地内で、平成28年3月に完成しています。

両者とも建設から50年以上経過して老朽化が進み、耐震性能が低く、大地震な

どの災害時に行政機能の維持継続が難しいことなどが庁舎整備事業を進めた理由でした。

- ・人、環境に優しい庁舎
- ・機能性を重視した庁舎
- ・防災拠点となる庁舎

これらのことなどをコンセプトに設計されています。

今回の視察で得たことを



早川町新庁舎

庁舎建設に活かしたいと思っています。



独立記念式典招待に伴う表敬訪問

7月3日より7日までの日程で、アメリカ合衆国・オレゴン州・イーグルポイント市の独立記念式典に、議長を始め議員11名と村長・職員、計14名で参加してきました。

現地 7月3日(火)

サンフランシスコを経由して、オレゴン州のメドフォード空港には、午後5時50分到着。空港には、イーグルポイント市のラッセル市長をはじめ関係者5名の方が出迎えてくださいました。

イーグルポイント市は、アメリカ合衆国オレゴン州の南西部に位置するジャクソン郡内にある11の法人化都市の一つであり、1911年(明治44年)、市制がスタートしました。現在の人口は約9千人。行政には市長のほか、実務的な最高責任者であるシテイマネージャーなどがいて、議員数は6人とのことです。

現地 7月4日(水)

イーグルポイント市で用意していただいたスクールバスに乗り、朝食会場であるグレンジホール(農家の人の集会場)に到着。ここでは、ボーイスカウトによるパンケーキパーティーが

行われていました。朝食をいただいた後、徒歩でサーモンが遡上するという川の上に架けられた「屋根付き橋」や式典会場となる市内を通り消防署を見学。消防士は全部で12人、3班編制

で業務に当たっています。続いて、市役所(警察署併設)を訪問し、議場等を見学させていただき、ここで、村長から昭和の秋まつりへの招待状をラッセル市長へ手渡しました。



市庁舎議場で



消防署にて

午前11時から、アメリカ独立記念日を祝してパレードが行われました。堤村長はラッセル市長とオープンカーに乗り沿道の市民の大歓声に笑顔で応え、加藤議長ほか13名は、クラシックなバスに乗り、配布されたキャンディを沿道にいる子どもたちに振る舞うなどパレードに参加させていただきました。

きました。夕方からは市長宅において、市議会議員や中学生海外派遣事業の受け入れの中心的な仕事をしてきている「こんにちはクラブ」の方など関係者約50人が集まり、挨拶を交わしたり記念撮影をするなど、和やかな雰囲気での歓談が行われました。



独立記念パレード

現地 7月5日(木)

午前8時30分にホテルを出発し市庁舎にて、ラッセル市長や市議と合流し、中学生が訪れているクレーターレイクを見学しました。

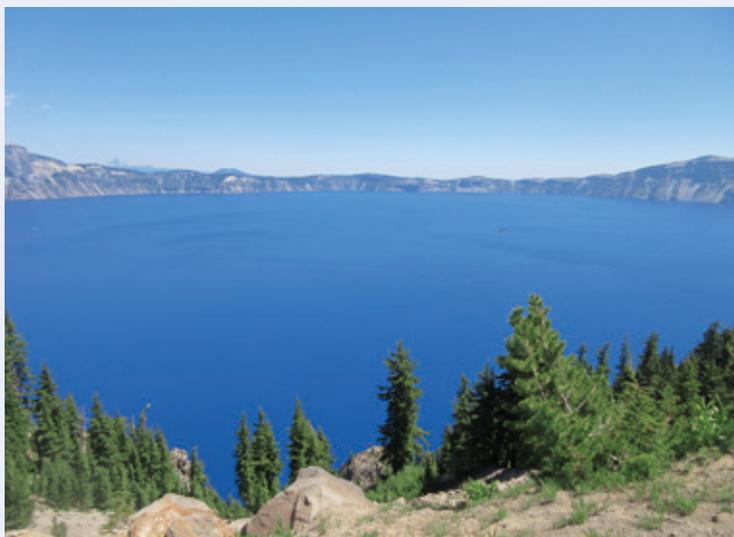
クレーターレイク国立公園は、オレゴン州南部に位置する米国の国立公園であり、1902年に米国で5番目の国立公園として設立されました。公園の面積は741km²。クレーターレイクはマザマ山の噴火活動によって形成され、最深部は597mであり、米国で最も深い湖で世界で7番目の深さです。湖自体の平均標高は1,883mであり、クレーターレイクは、流入・流出河川を持たないために湖水は通常は極めて青く澄んでいます。

午後5時から夕食会が開かれましたが、会場には、ラッセル市長をはじめ、市議など約30人が集まり、料理を食べながら、名刺交換などお互い談笑し、楽しい会食となりました。最後に堤村長が中学生海外派遣事

業のお礼と昭和の秋まつりに招待するので、是非みなさんで昭和村へ来ていただきたい旨あいさつを行い会食が終了しました。これにて、イーグルポイント市での全日程が終了しました。

最後に、イーグルポイント市を訪問し、中学生海外派遣事業の大切さを確認することができ、壮大な自然と古き良きアメリカを感じさせる、とても環境の素晴らし

い場所でした。ホストファミリーの方々はもちろんのこと、地域の方々も昭和村の中学生が来ることをとても楽しみにしており、特にしつけの良さに驚



クレーターレイク

いていました。しかし、ホストファミリーの減少など問題点もあり、継続する難しさを痛感しました。本村にとっても大切な事業です。問題点の解決を行い、円滑な推移が図られるよう努めていきたいと考えています。ラッセル市長をはじめ、市議のみなさん、教育事務所の方や地域の方々に有意義な時間を過ごさせていただき、大変ありがとうございました。

地域でがんばる人



ささやかな国際交流

加藤 久俊さん



18年前、村のホームステイ事業でホストファミリーになりました。その時に受け入れたのがテリーサ、トーマス親子です。私達が出会うきっかけとなった事業、関係者の方々に感謝申し上げます。

彼らが帰国してから現在まで、手紙やメールのやりとり、オレゴン州での再会、最近ではSNSを通じて交流を続けてきました。言葉の違いはもちろん、国の距離があつたにもかかわらず、これほど長く交流が続けられるとは想像していませんでした。しかし彼らは、私達との再会を18年前と全く変わらない笑顔でとても喜んでくれました。違う言葉を話しても、遠く離れた場所で暮らしているも、友情という絆が私達を繋いでくれているのだと思います。

今回は約1週間、私の家に滞在しました。私達なりに精一杯のおもてなしをしたつもりです。日本を発つ際に彼らは「See you again」と言いました。私達の交流はこれからも続いていきます。



11歳だったトーマス(写真中央)が婚約者を連れて来日してくれました

編集室から

今年は激烈な猛暑、各地で大水害、北海道では激震・大停電と歴史に残る夏でした。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて私達編集委員は、安心安全な「みんなで作ろう元気な昭和小」を目指し議会の情報を発信してまいりましたが、この第90号で次の方にパトナタッチと相成ります。ご愛読、大変ありがとうございます。

藤井 貞充 記

議会広報編集特別委員会

委員長 藤井 貞充
副委員長 高橋 隆雄
委員 永井 一行 横坂 末吉
林 祐司 藤井 照明
兵藤 喜孝 加藤 生

